

第2回自動車業務委員会開催！

2024 春季生活闘争に向け議論交わす！

1月24日、JR四国労組は「第2回自動車業務委員会」を開催した。

議事では経過として、「企業型確定拠出年金制度の導入にかかる団体交渉」「JR連合自動車連絡会第31回総会」「2023年度第2四半期決算にかかる経営協議会」「2023年度年末賞与にかかる団体交渉」について報告した。報告にあわせて、第2四半期決算が4年ぶりの黒字となったことを受け、事業計画に掲げる営業損益ベースでの黒字達成にとっても重要となる「安全・安心輸送の継続」に取り組むよう呼びかけた。また、過去最大の上げ幅となった年末賞与については、一定の水準まで引き上げられたことに対する安堵の声とともに、まだまだ生活が苦しく継続的に月数改善が必要といった声が各委員より寄せられた。



続いて、議題として、支部大会、分会大会を振り返りつつ、今後の活動を通じた組織の強化・拡大に向けて意見交換を行った。各分会ともコロナ禍においてレクリエーション活動等が開催できておらず、コミュニケーションの充実を図るべく、今後の計画等を共有し、積極的な展開に向けて刺激し合った。また、支部・分会合同でのカップ麺配付行動については、役員からの手渡しをきっかけに組合員との対話が図られたことを確認し、さらなる世話役活動につなげていく思いを共有した。そして、目前に控えた2024春季生活闘争に向けた議論を行った。足もとでは要員不足によって、続行便の運行にも支障を来している現状を踏まえ、定期昇給・ベースアップの実現をはじめ、「人への投資」が必要不可欠であることを確認。具体的な要求内容については、連合・JR連合等の方針を踏まえつつ、2月9日に開催されるJR四国労組第37回定期本部委員会で決定する春闘方針に基づき、取りまとめていく。

以上